

栃木県

モデル圏域 県南圏域



とちまるくん



ナイチュウ

(とちぎナイスハート推進マスコット
キャラクター)

地道な活動の継続 ～小さな事からコツコツと～

栃木県では、平成25年度から「地域に迎え入れる力」、平成26年度から「病院の送り出す力」を高めるための研修に着手し、実行計画を立案するグループワーク、ブラッシュアップを継続実施している。平成27年度からは、より積極的な取組を推進するため、県自立支援協議会相談支援部会に国研修受講者を中心にした官民協働のワーキンググループを設置し、研修の企画運営などについて検討を行っている。

また、地域移行の対象となりうる者を把握するため、平成26年度に精神科病院入院患者の調査を行い、地域移行のハンドブックを作成し取組の均てん化を図っているところである。

1 令和元年度の達成目標と現時点での進捗状況

令和元年度の達成目標	現時点での進捗状況
<p>①市町における地域包括ケアシステム構築、推進のための取組・検討 ⇒現状の2市町から管内全市町（6市町）で、地域包括ケアシステム構築推進のための協議が進む</p>	<p>・協議の場は、3市町で開催。 ・管内の市町における取組を進めるための『精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進県南圏域連絡会』を10月上旬に開催する予定。</p>
<p>②地域移行支援に関するピアサポート活動の実績 ⇒退院支援に関わり、相互の意欲喚起につながる活動を1つでも実施</p>	<p>・管内の1病院で、ピアサポーターを活用した退院意欲喚起のための取組を検討。</p>
<p>③医療機関における退院意欲喚起のための企画実施 ⇒管内2病院での企画</p>	

3 圏域の取組における強みと課題

【特徴(強み)】

- ・精神障害にも対応した包括ケアシステム構築のための取組は、病院を中心とした3つのエリア毎に各関係機関との連携をとりながら行われている。
- ・県南圏域として関係機関との連携を深め、地域相談支援を円滑に推進する協議の場としての連絡会や研修会等を実施している。
- ・各関係機関において、ピアサポーターの活用についての理解があり、管内2病院のデイケアからもピアサポーターの推薦がある。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割(取組)	
エリア毎に特徴や課題がある。しかし、各エリアにおける活動状況及び課題を共有する場や、圏域としての課題の検討や評価等を行う場がないため、継続性や発展性がない。	<圏域の支援体制の評価と再構築> 各関係機関で実施している取組を把握・整理するとともに、各エリア及び圏域全体としての取組む方向性を計画、実施、評価していく場を設置する。	行政	各市町における取組を振り返り課題抽出し、市町ごとの協議の場で有効活用していく
		医療	各機関での課題を抽出し、それぞれの立場でできることを検討する
		福祉	
		その他関係機関・住民等	
ピアサポートの活用について、現状は普及啓発活動の場が中心で、地域移行支援等、ケース支援の活動まで広がらない。	<地域移行支援者としての活動の企画> ピアサポーター及び各関係機関の職員が一緒にピアサポートの意義や効果等を再確認し、具体的な活動計画を企画する。	行政	地域包括ケアシステムを構築するなかで、ピアサポーターの活用を意識的に位置づける
		医療	退院意欲喚起の重要性を再認識し、地域の支援機関の活用を検討する
今までの地域移行支援の取組みから、医療機関における退院意欲喚起の働きかけの重要性を再認識。	<医療機関における退院意欲喚起のための取組み> 医療機関において、地域の支援機関等を活用した退院意欲喚起のための取組を企画する。	福祉	ピアサポーターの活用を積極的に検討するとともに、医療機関における退院意欲喚起の取組を推進する
		その他関係機関・住民等	

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値 (令和元年度末)	見込んでいる成果・効果
①各市町における、地域包括ケアシステム構築及び推進のための検討実績	2市町	6市町	各市町における地域包括ケアシステム構築推進のための協議が推進する
②地域移行支援に関するピアサポーター活動の実績	0	1以上	退院支援に関わり、相互の意欲喚起につながる
③医療機関における、長期入院患者への退院意欲喚起のための取組企画	-	2病院	長期の入院患者も「退院したい」との意識が高まる

3 病院（医療機関）との連携状況

- ・連絡会を開催するにあたり、内容として、「精神科医療機関の現状について」を項目としてあげ、現状を把握するため、打合せの機会等を設けて、聞き取りや意見交換等を実施。
- ・ピアサポーター交流会等を活用し、病院での企画に関する情報交換を実施。
- ・病院スタッフが、市町の協議会における地域移行ワーキングメンバーとして参加し、定期的に情報交換を実施。

4 現時点での課題・悩み

・第1回目の連絡会を開催した後の展開について

- 管内市町の主体的な取組をサポートする方法
⇒ 着実な実績として積みあがるようなサポート方法や体制
- 次の連絡会の企画
- 市町の協議の場との連動性

・ピアサポーター研修会の実施を計画しているが、ピアサポーターを活用した医療機関における退院意欲喚起のための取組につなげていくためには、どうしたらよいか。